

ボランティア活動者募集

学校園からの要請に迅速に応えるために皆様に支援者登録を行ってもらい、支援要請があればその学校園の近隣にお住まいの方を優先に声掛けを行っています。

現在、180 名ほどの方が登録されていますが、まだまだ不足しています。皆様の登録をお待ちしています。

連絡先:078-743-8101(グループわ 事務所)

担当:高木博史

登録用紙はホームページからダウンロードできます。また、直接ホームページから入力することもできます。

http://wa-net.jp/group-wa/2021/04/20/honbu_gakouen/

トップページ右上のボランティア募集タブからも入れます。

<http://wa-net.jp/group-wa/>



KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ開催

知的な障害を持つ青年たちにとって、高校(特別支援学校の高等部)を卒業した後は、就職か福祉就労しか選択肢がなく、学びの場が実質的には保障されていないのが現状です。「卒業後も仲間とずっと学びたい、進学したい!」という、知的障害のある青年たちの思いと、障害者権利条約(2014.1.20 批准)(※)を背景に、しあわせの村は、文部科学省委託事業を受託し、軽度の知的障害のある青年たちが学ぶ生涯学習の場「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」を立ち上げました。シルバーカレッジの学舎で、年 6 回の開講を予定しています。受講生は神戸市各区に住む就労事業所や会社で働いている 18 歳から 30 歳の青年男女 30 名です。

グループわ は、部活動の引率、2 回の世代間交流授業等を委託されました。また、新長田で、知的障害のある青年たちの 2 年間の学びの場「エコール KOBE」そして 6 年間学べる福祉事業型職業訓練校「カレッジ・アンコラージュ」を立ち上げるなど、すでに先進的な取り組みをしている「ライフ・シンセリティ」のスタッフと、そこで学ぶ学生たちとも一緒に活動することとなっています。

①開講式

7 月 24 日(土)の開講式には来訪された「久元喜造市長」にご挨拶をいただき、記念写真を撮りました。NHK と神戸新聞も取材にきて、NHK のテレビニュースで紹介され、神戸新聞にも掲載されました。

1 回めの講義「異文化を学ぶ」では、積極的に手を挙げて質問するなど意欲的に取り組んでいました。午後の 90 分間の世代間交流授業では、グループわ の KSC マジッククラブにお世話になりました。マジックショーに歓声を上げ、マジックを教えて貰い、グッズをお土産にもらい、大変喜んでいました。アンケートには受講生の全員が楽しかったと答え、「おじいさん」「おばあさん」が教えてくれてよかった、との感想が書かれていました。マジッククラブの方

の年齢を聞いて驚いていた受講生もいましたので、高齢者と青年のよい交流になったようです。

②2回目以降の講義

9 月 11 日(土)の第 2 回目から部活動が始まりました。

コンテポラリーダンス、卓球、テニス、ボクシングフィットネス、スポーツの 5 つです。それぞれ経験があるようで、なかなか上手く、みんな満面の笑みで、楽しんでいました。



2 回目の講義は王子動物園、アンモナイトのレプリカ作り。

3 回目 10 月 16 日は、阪急・阪神電車、川重の時速 400Km を出すオートバイ「Ninja」、その後はインドカレー作り、写真、ダンス、神戸の歴史など、と続きます。12 月の世代間交流はわらい届け隊と一緒に楽しく遊んで仲間との思い出作り。2 月が閉講式。彼らの表情を見ていると、ユニバーサルカレッジは彼らの良い学びの場になっていると確信しています。



※障害者権利条約(2014.1.20 批准):「国は、障害者が、差別なしに、かつ、他の者との平等を基礎として、一般的な高等教育、職業訓練、成人教育及び生涯教育を享受することができることを確保する。このため、締約国は、合理的配慮が障害者に提供されることを確保する。」